

生き立ち

わたしはムンティンルパ市で生まれました。

母がわたしと双子を産む前に、ほんとうの父はかぞくをすてました。だから、子どものときから「ほんとうの父がない生活」を知っていました。

そのあと、母は日本人の男の人とけっこんして、わたしたちはその家族にはいりました。でも、そのときも生活は安定していませんでした。メトロマニラの中で何回も引っこしをして、落ちつく場所がありませんでした。子どものころから、わたしはいつも不安をかんじて、また引っこすために荷物をつめなければなりませんでした。

母が日本人のぎりの父とわかれたあと、生活はもっと大変になりました。わたしたちはカビテに引っこして、わたしの人生の大きな転機になりました。にぎやかな町から静かな田舎に行くことは、とても大変で、なれないものでした。新しい学校、新しい人、新しい生活です。

わたしを助けてくれる人はいなくて、母はひとりで一生けんめいに働きました。つかれて家に帰る母を見て、わたしは少しずつ責任の重さがわかるようになりました。

お金がないことが多かったので、わたしはせつやくのしかたや、げんじつ的に生きることを学びました。1ペソの大切さ、自立すること、家の手つだいをすること、そして人生はとつぜんむずかしくなることがあると知りました。とてもつらい日もありましたが、そのけいけんはわたしを強くしてくれました。

そのしれんは、「何回しっぱいしても前に進む力」を教えてくれました。

これらのけいけんが、わたしが日本に行きたい理由です。日本がわたしのルーツとつながっているからだけでなく、自分とかぞくのために安定した未来を作りたいからです。子どものときに手に入れられなかった「安定」を、日本で手に入れたいです。

わたしにとって日本は、どりよく、きりつ、新しいチャンスの国です。

目標にむかってがんばる中で、ケンジミン日本語トレーニングセンターのサポートとおうえんは、わたしの大きな力になっています。

たくさんの引っこし、不安定な生活、そして大変な日々。これらのすべてのけいけんが、今のわたしを作りました。